

経営比較分析表（令和3年度決算）

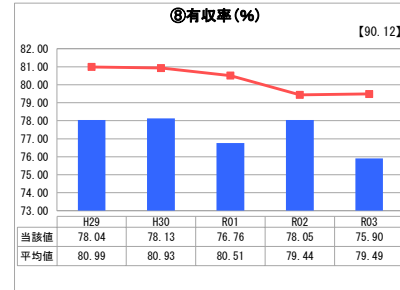
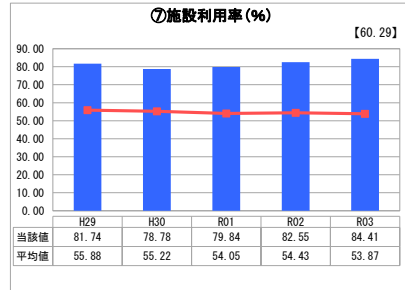
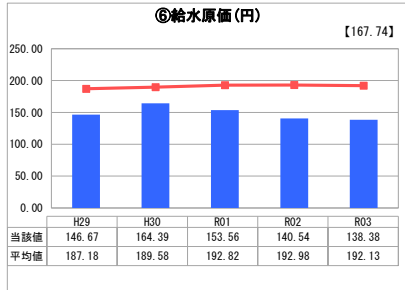
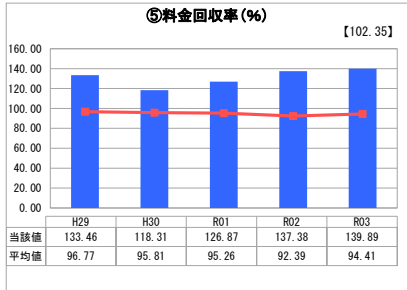
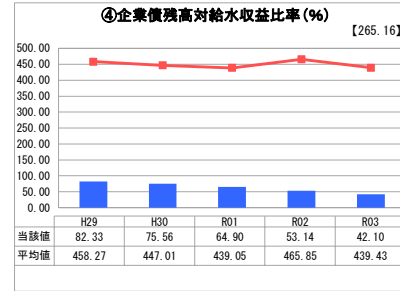
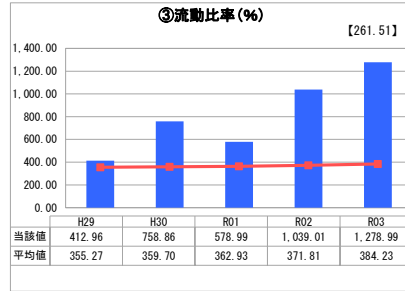
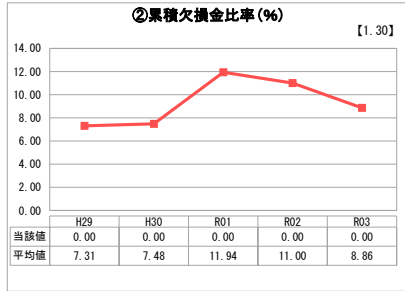
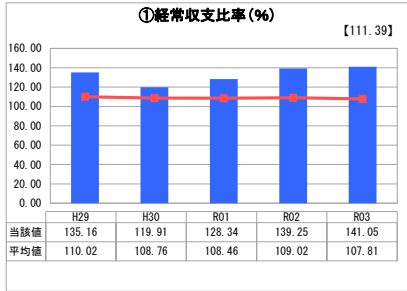
宮崎県 川南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客産料金(円)	
-	92.97	94.82	3,828	

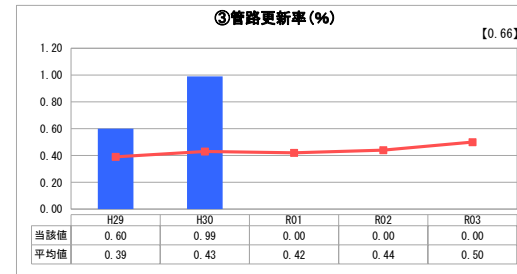
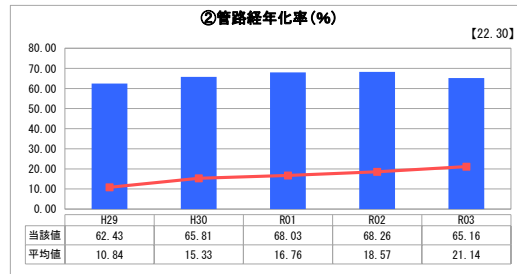
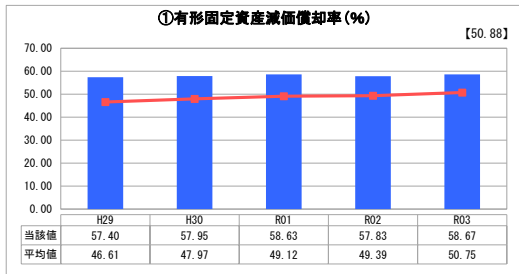
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,284	90.12	169.60
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,349	54.90	261.37

グラフ例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率 経常費用が経常収益によって賄えており、更新投資等に充てる財源が確保されています。
- ②累積欠損金比率 累積欠損金は無く、健全な経営状態にあります。
- ③流動比率 短期的な債務に対する支払能力は確保されています。今後は、優先度を考慮した更新投資等を行っていきます。
- ④企業債残高対給水収益比率 平均値と比べ、かなり低くなっています。令和7年度に償還を完了しますが、構築物の大規模な更新の際は、新たに借入を行う必要があります。
- ⑤料金回収率 引き続き、給水に係る経費を給水収益で賄えています。過去5年間の状況を考慮し、料金水準の見直しを行う時期にきています。
- ⑥給水原価 平均値よりも低く、良好な状況にあります。動力費の高騰等も注視しながら、引き続き良好な状況を持続していく必要があります。
- ⑦施設利用率 給水人口に対する配水能力及び有収率が低いため、かなり高い数値となっています。今後の人口推移の動向、有収率向上対策を考慮する必要があります。
- ⑧有収率 平均値と比べ、かなり低くなっています。配水管総延長が長く、老朽化が進んでいることが考えられます。漏水調査の強化及び配水管更新を進めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率 平均値と比較して高く、固定資産の大多数を占める構築物の老朽化が進んでいます。また、管路経年化率がかなり高く、更新の必要性が高くなっています。現在の資産の状況及び将来の財源の確保を見据えながら、計画的な更新を行う必要があります。
- ②管路経年化率 平均値よりかなり高くなっています。今後は更に管路の老朽化が進むため、計画的な更新が必須となっています。
- ③管路更新率 管路更新がほとんど進んでいない状況にあり、減価償却率及び管路経年化率を踏まえ、投資計画の見直しを行い、管路の更新を加速させる必要があります。

全体総括

経常収支比率が高くなっていますが、有形固定資産減価償却率が高く、管路更新率が低いため、老朽化が進んでいる状況にあります。今後は、更新計画の見直しを行い、老朽化対策等の投資を進めていく必要があります。

また、有収率が低く、施設利用率が高いため、収益につながらないものが多くみられます。このことについても老朽化対策（配水管更新）を進めていくことにより、効率性を高めることに結びつきます。

現在、経営状況及び財政状況は良好です。料金水準については、資産の状況及び老朽化対策等を考慮し、算定する必要があります。将来の財源等を見据えながら、安全・安心で効率的な経営を目指していく必要があります。